

第 2 回ミライシコウ金沢参加

令和 6 年 3 月 1 6 日(土)金沢大学で第 2 回ミライシコウ金沢が開催されました(主催:金沢大学、主管:金沢大学附属高校)。「プログラム A 高校生探究成果発表会」と「プログラム B 高校生国際会議 Youth and Climate Action Conference」の



2つのプログラムが準備され、本校からはプログラム A に 2 年普通科課題研究能作班が 2 班、人文社会科学科から英語班、理数科学科から化学班、地学班の計 5 班、プログラム B には 1 年普通科から 3 名の生徒が参加しました。

探究成果発表会では 10 の分科会に分かれ、ポスター発表やパワーポイントによる発表が行われました。各分科会では、各発表の後に質疑応答が活発に行われ、金沢大学の先生方を中心にした助言者の方々からアドバイスやコメントをいただきました。県外の学校も多く参加しており、たくさんのコメントペーパーをもらって、とても刺激に溢れた発表会でした。高校生国際会議では、気候変動に関する政策立案や国際会議で活躍できる未来のグローバルリーダーに必要な知識と経験を身に付けることを目的とし、午前中は様々な観点から講義(英語)を聴き、午後には“What we can do in our own community and how it can contribute to global outcomes.”についてディスカッションを行いました。英語を使って、他校の生徒と意見を交換する貴重な体験ができました。



<生徒の感想>

- ・研究内容はもちろん、スライドはとてもわかりやすく、一人一人が堂々としていてすごかった。質問に対する答え方も丁寧で適切だった。
- ・石川や仙台、京都といった広い範囲から集まった人たちと意見を交換することで、自らの視野を広げられた。
- ・これまでの発表会よりも適切な指摘を多く受けられたので、自分たちの研究の不完全さを再認識できた。
- ・研究テーマに対する熱意を持った人たちがばかりで、その人たちの研究はレベルが違った。
- ・どの学校の発表もしっかりと下調べや実際にトライしていて行動力があつた。
- ・様々な諸課題に関する解決策を聞くことができ、自分の知識や見方が深まったと感ずることができた。また、発表の仕方など参考になることも多く、有意義な時間を過ごせた。
- ・私たちの 1 つ前の発表の内容が、高校範囲を超えたとても高度な研究をしており、大学の先生たちからも絶賛されていてとても衝撃を受けた。それまで、校内や県内の他校と比較して、自分たちの発表は負けず劣らずの程のものだとも思っていたので、不意を突かれた。それと同時に、まだ自分たちには成長する余地があるということも分かった。
- ・偶然、先生に声をかけていただき、参加することになったが、「英語をもっと勉強したい！」と強く思えるような貴重な経験となった。
- ・学校での授業とは違う英語に触れることができた気がして、とても新鮮だった。
- ・環境問題についての意識が薄かったなと思った。学んだことを周囲の人と共有していきたい。

